

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げ後の個人消費に弱さがみられることや海外景気の下振れが懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、主力の調剤薬局事業におきましては、昨年4月に行われました調剤報酬改定及び薬価改定により、過去にない厳しい事業環境となりました。

このような中、当社グループは、超高齢社会の進展に伴い医療・介護サービスの需要は拡大するものと捉え、調剤薬局事業におきましては安全性を最優先とし、ヘルスケア事業におきましてはこれまで行ってきました先行投資の効果を発現するための体制整備を進めつつ、事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高19,541百万円(前年同期比15.6%増)、営業利益965百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益956百万円(前年同期比9.7%増)、四半期純利益は642百万円(前年同期比29.3%増)となり、前年同期に比べ増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、当第3四半期連結累計期間に新規出店及びM&Aにより5店舗を開局し、1店舗を閉局いたしました。これにより、店舗総数は、前期(平成26年2月期)末比4店舗増加し91店舗となりました。

当期間における新店舗及び前期に出店した6店舗が寄与し、売上高15,823百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益1,177百万円(同5.3%増)となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年3月に有限会社三重高齢者福祉会(三重県)、同4月に株式会社ハピネライフケア(鳥取県)をグループ会社化し、また、同11月に介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウス津アネックス」(三重県)を開設いたしました。これらにより、居住系介護施設は21施設、760床(前期末9施設、450床)となりました。

既存施設における入居者数の増加に加え、新規取得した子会社が寄与したことにより、売上高2,705百万円(前年同期比139.9%増)、営業利益150百万円(同143.8%増)となりました。

③ 医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場規模が拡大する中で積極的な営業を展開した結果、売上高946百万円(前年同期比22.5%増)、営業利益87百万円(同28.6%増)となりました。(内部売上を含む売上高は1,325百万円となり、前年同期比で20.4%増加しました。)

④ 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高65百万円(前年同期比23.5%増)、営業利益45百万円(同69.5%増)となりました。

投資事業におきまして、投資有価証券売却益139百万円の計上を含め、効率的な運用成績を収めております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。